

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第738号 平成26年5月20日

エゾシカ条例

増えすぎたエゾシカの頭数を適正に管理し、食や観光等での活用を促進するための条例「エゾシカ対策条例」が3月20日に開催された道議会本会議で可決、成立しました。

野生鳥獣の管理、利用に関する条例は全国初だそうです（3月21日付北海道新聞から）。

シカが増え過ぎたといいますが、北海道には一体何頭のシカが生息しているのでしょうか。

道のエゾシカ対策課によると、平成22年度からスタートした緊急対策期間の3年目となる平成24年度のエゾシカ捕獲数は、全道で約14万4千頭（対前年度6千頭増）となっています。この捕獲実績等により、平成24年度における全道のエゾシカ生息数は、約59万頭（前年度5万頭減）と推計されています。

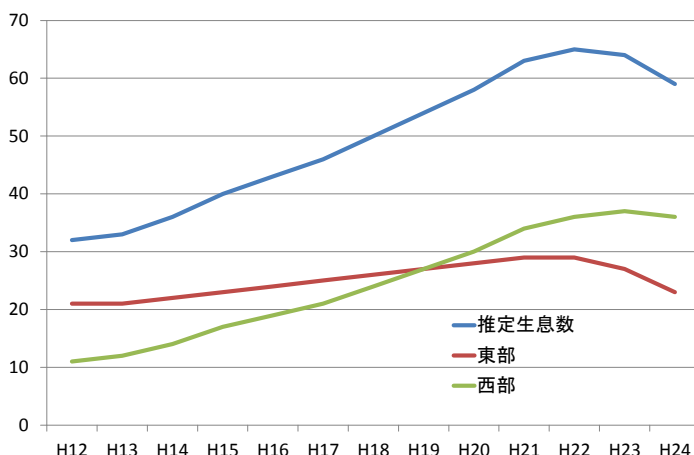
なお、エゾシカ生息数の年度別の推移は左図の通りですが、平成22年度の65万頭をピークに減少している様ですが、一体どうしてエゾシカは急速に増えてしまったのでしょうか。

その原因としては、シカの捕食者であるオオカミの絶滅、地球温暖化による降雪量の減少等様々な要因が考えられていますが、はっきりとした事は分かりません。

道内を旅行すると、時々シカに出会う事があります、そんな時は可愛いと思うのですが、地元の方々にとってはなかなか厄介な存在となっています。

エゾシカは、北海道にのみ生息するニホンシカの亜種です。食性は幅広く、ほとんどの植物を食べることから農林業被害を引き起こし易く、生息密度が極めて高くなると植生の著しい退行など森林生態系に大きな影響を及ぼす事になります（道庁エゾシカ対策課資料から）、現実に、エゾシカによる農林漁業の被害は非常に深刻な状況となっています。

エゾシカの生息数の推移



【道庁エゾシカ対策課の資料により作成】

エゾシカ対策課の調べによると、鳥獣による農林漁業の被害額は、平成24年度は69億8700万円となっており、その内、獣による被害額は66億2400万円となっています。しかも、エゾシカによる被害額は63億400万円に上っており、鳥獣被害の90.2%をエゾシカが占めています。

また、農林漁業被害の内訳をみると、

- ・農業被害額 67億1700万円
- ・林業被害額 2億4900万円
- ・水産被害額 2100万円

と、農業被害が圧倒的です。

こうした状況の中、北海道では、これまで鳥獣保護法に基づく「エゾシカ保護管理計画」を策定し、エゾシカと人間の共生と本道の豊かな生態系の保全を目的とするエゾシカの個体数管理の取り組み等が行われて来ましたが、この度の「エゾシカ対策条例」の制定に伴い、エゾシカ対策の総合的かつ計画的な取り組みが一層推進されるものと期待されます。

「エゾシカ対策条例」の目的は、人とエゾシカとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与する事にあり、そのために、

○状況を適確に把握して、科学的知見に基づき、状況に応じた実効性のある対策を推進する

○生物の多様性に及ぼす影響に配慮する

○エゾシカは道民共有の財産であり、その価値を最大限に活用する

事等を基本理念とし、具体的な対策としては、

○農林業への被害が著しく増加し、エゾ鹿の捕獲等を強化する必要がある場合は「緊急対策期間」や「特定重点対策地域」を設定して、エゾシカの捕獲等を重点的に行う。

○捕獲等の担い手の確保と専門的な知識技術向上のための研修を充実する。

また、エゾシカ捕獲等のため来道するハンターを有効活用する。

○エゾシカ肉の提供も含め、食関連分野、観光分野等においてエゾシカが有する多面的な価値を有効活用する。

事としています。

更に、「エゾシカ対策条例」においては、全国で初めてエゾシカの捕獲等を目的とする鉛弾の使用を禁止しています。これまでも、ハンターに対して、希少猛禽類への影響を考慮し鉛弾を使用しないよう指導して来ましたが必ずしも十分な効果を上げて来ませんでしたので、本条例において、違反者に対しては罰則が適用されるという形で明確に鉛弾の使用が禁止された事は、画期的だと思います。

「エゾシカ対策条例」制定の背景には、野生生物の生活領域と人間の生活領域が接近し、更に一部では重なり合う事態となっている事が上げられます。しかしその

原因は、野生生物が人間の生活領域に踏み込んで来たというより、大規模な地域開発等によって人間の生活領域が野生生物の生活領域を侵食して来た事にあるといった方が良いでしょう。

宇宙船地球号は、人間だけの乗り物ではありません。つまり、野生生物は、宇宙船地球号の同乗者なのですから、「エゾシカ対策条例」を運用するに当たっても、野生生物を支配しようとするのではなく、共生するというという視点を忘れず、適切に対応していただくことを望みます。（塾頭：吉田 洋一）